

<p>事例項目</p>	<p>第5次総合計画策定における市民参画の取り組みについて <市民の意見を反映した「第5次総合計画」の策定></p>
<p>事例発生時期</p>	<p>平成22（2010）年2月</p>
<p>担当課</p>	<p>総合政策部 企画課</p>
<p>事例概要</p>	<p>①平成21（2009）年3月、市は、「第5次総合計画」を策定するに当たり、市民意見を反映させるため、「門真未来市民会議」、「門真の未来子ども会議」等を立ち上げた。 ②「門真未来市民会議」においては、公募による市民委員23名の参加のもと、延べ7回の会議を開催した。 会議の開催時刻を、夕刻以降にすることで、より多くの市民委員に参加していただいた。 ③「第5次総合計画」の基本構想や基本計画の素案を策定するに当たり、「門真未来市民会議」の市民委員より、様々な意見をいただき、素案に反映させることができた。 ④「門真の未来子ども会議」においては、市立小学校6年生を対象に、公募による34名の参加を得て、「こんなまちになったらええなあ」をテーマに、作文発表や意見交換等を行った。 ⑤さらに、市内の中学校・高校美術部の生徒の協力により、「未来のまちの絵」をテーマに絵を描いていただき、その作品を「第5次総合計画」の冊子に掲載した。</p>
<p>事業効果など</p>	<p>○平成22（2010）年2月、「第5次総合計画」を策定し、「門真未来市民会議」の役割を完了したものの、市民委員の参加者の多くが、「自分たちで作った計画は、自分たちで推進状況をチェックし、自分たちでできることを考え、門真のために何か始めていこう」と考え、自主的な組織を立ち上げ、市政への参画意識の醸成が図られた。 ○素案作成に際して、子どもたちからも様々な意見や作品の提出をいただき、市民の積極的な参画を得られた。</p>